

令和7年度埼玉県議会ブランデンブルグ州友好親善訪問

- 1 期 間 令和7年9月9日（火）～13日（土）
- 2 訪 問 先 ドイツ連邦共和国（ブランデンブルグ州及びベルリン州）
- 3 訪問議員 埼玉県議会ブランデンブルグ州友好親善訪問団
団長 白土幸仁（議長）
団員 梅澤佳一、武内政文、岡地 優、水村篤弘、萩原一寿、松坂喜浩

埼玉県とドイツ連邦共和国ブランデンブルグ州（以下、両県州という。）は、平成11（1999）年8月に「姉妹提携に関する協定書」に調印して以来、環境・経済・スポーツ・教育等の分野で幅広く交流を行ってきた。

令和6（2024）年に姉妹提携25周年を迎え、大野知事から議会に対し議員派遣の依頼があったことから、このたび、両県州の相互交流の重要性を改めて確認し交流の促進を図るため、埼玉県議会ブランデンブルグ州友好親善訪問団（以下、議会訪問団という。）が、同州及びベルリン州を訪問した。

白土議長を団長とする7名の議員による議会訪問団は、州首相との会談、両県州による共同声明署名式やポツダム大学と県内大学との協定締結式への参加、ブランデンブルグ州議会議員との意見交換などを通じて、両県州の相互交流を図ることにした。

9月9日夜にベルリン・ブランデンブルグ国際空港に到着した議会訪問団は、翌10日朝、知事訪問団と合流し、ブランデンブルグ州首相府において、大野知事とともに、ディートマー・ヴォイトケ首相と会談を行った。

ヴォイトケ首相からは、「姉妹提携25年の発展を見ると、この友好関係が更に深まってきており喜ばしく感じている。このたびの訪問はこれまでの協力関係を更に深め、強化していく非常に良い機会であると考えている」との挨拶があった。

会談では、これまでの両県州の良好な関係や多様な交流が行われてきた成果を踏まえ、留学機会の促進に向けて両県州に所在する大学相互の協力体制を強化支援すること、両県州の間で地域レベルの民間企業を含めた幅広い経済交流を促進することが重要であるとの認識で一致した。



州首相との会談

その後、両県州によるパートナーシップの更なる発展に関する共同声明の署名式に参加し、会談で合意した結果を「共同声明」として表明し、互いに署名するとともに、白土議長がその共同声明に立会人として署名した。



州首相府正面玄関にて

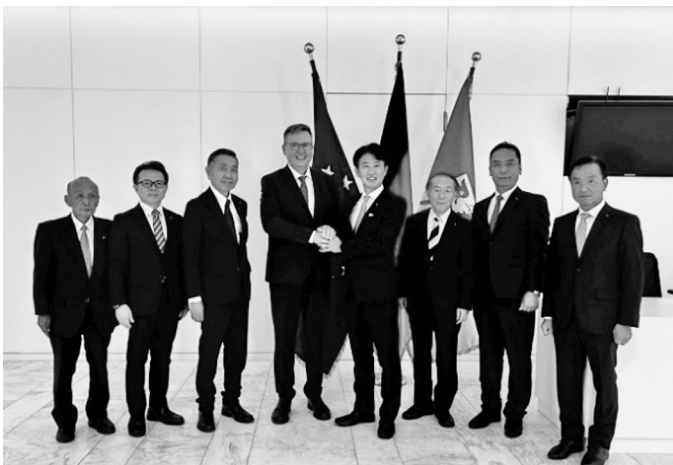


共同声明に署名する白土議長



両県州による共同声明への署名

その後、知事訪問団と別れ、午前から午後にかけて、ブランデンブルグ州議会を訪問し、ジュウリーン・グリーン州議会副議長、ヨーロッパ問題・開発政策委員長であるヨハネス・フンケ州議会議員と意見交換を行った。



フンケ委員長と州議会議事堂にて

最初にフンケ委員長からブランデンブルグ州議会及び州の概要について説明を受けた後、本会議場を見学した。2013年に現在の場所に議事堂を設置したこと、議場は円形であり半円部分に会派ごとにまとまって議席を配置していること、一つ上の階に傍聴席や記者席を配置し、議場内の様子が見えにくい方のため議場内壁面に発言者等を映し出す大型モニターを2台設置していること、2013年から累計して、今年8月に傍聴者数が100万人となったことなどについて説明を受けた。

議事堂内の一室で行われたグリーン副議長及びフンケ委員長との意見交換では、冒頭に白土議長から挨拶し、若者の政治への関心や参画を促す取組として、若者とブランデンブルグ州議会議員とが議論するイベントを開催していることについて触れ、埼玉県議会においても昨年から同様に大学生と県議会議員による意見交換会を開催していること、若者たちは議員が思いつかないような意見や、議員とは異なる視点を持っており、議員が大きな



州議会議事堂・本会議場

刺激を受ける良い機会となっていることなど、県議会においても住民に開かれた議会を推進していることを説明した。

フンケ委員長から、ドイツでは石炭による発電から脱却することを決め、太陽光や風力など再生可能エネルギーへの転換を進めていることに触れながら、「ウクライナ情勢など今の状況をどのように捉えているか」との質問があり、白土議長は「ウクライナ情勢は、海外からの輸入に頼っている日本経済にとって大きな問題である。ロシアから輸入していた天然ガスについて調達先の多様化を図るとともに、代替エネルギーとして再生可能エネルギーの推進が非常に重要であることから、エネルギー問題が重要な政策的な転換期にあると考えている」と説明をした。

グリーン副議長からは、少子高齢化による人手不足について、看護師を例に、職業訓練や手当制度のほか、ひとり親家庭の生活、経済状況が厳しい現状について説明があった。

このほか、移民政策、農業施策など多岐にわたる意見交換を行い、今後も両県州がより一層交流を深めていくことを確認した。



意見交換を行ったグリーン副議長

その後、再び知事訪問団と合流し、ポツダム大学を訪ね、同大学と県内の埼玉大学・獨協大学との間での学術交流に関する協定締結式に立ち会うとともに、日本人学生や大学内のスタートアップ・イノベーション拠点との意見交換の場に出席した。

オリバー・ギュンターポツダム大学学長からは、「国際情勢をはじめ多くの課題が取り巻く現代社会において、主体的に学び、友人たちと苦楽を分かち合うことは重要であり、学術協力など日本とドイツの両国の友好関係を深めていくことが今の我々の課題であると思う」旨の挨拶があった。

白土議長は、「異なる文化を背景に持ち、多様な価値観を持つ学生たちが、共に同じキャンパスで学ぶことは、学生自身が国際的な感性を磨くことだけでなく、大学そ

のものの活性化にもつながる。協定締結を契機として、学生の相互交流や共同研究が推進され、両国の友好関係の深化、持続可能な発展へとつながることを願っている」と挨拶した。

坂井貴文埼玉大学学長からは、「自分とは異なる文化や歴史を持つ国の人々と交流を深め、理解することが、世界平和と学問の発展につながる。大学間協定は大変重要であり、若い学生たちの交流は我々にとって未来の希望でもある」旨の挨拶があった。

ポツダム大学と県内2大学との学術協力に関する協定書への署名が、フォルカー・ゲルト・ヴェストファル・ブランデンブルグ州財務・ヨーロッパ省長官、大野知事及び白土議長の立会いのもとに行われ、学生の交換留学や教員・研究者・事務職員の交流など学術協力の取組が今後進められていくことを確認した。

その後、夕刻、州首相が主催する姉妹提携25周年記念レセプションに知事訪問団とともに出席した。

レセプションには、州首相をはじめ、フンケ委員長、同州のテルトウ市市長、ベルリン日独センター事務総長、ジェットロ・ベルリン事務所長、サイタマ・レディース経営者クラブ会員の方々など、ブランデンブルグ州及び埼玉県の各分野の関係者約60名が参加し、懇談を通じて両県州の交流を深めた。

翌11日は、ベルリン州へ移動し、ベルリン市内の国際貿易センターの一室を訪ね、岡本繁樹ジェットロ・ベルリン事務所長からドイツの経済概況や政治情勢、ベルリンのスタートアップエコシステムについて、ブリーフィングを受けた。

説明を受けた後、アメリカのトランプ関税に対するドイツやEUの対応状況や、ドイツへの進出を目指す企業へのジェットロでの支援について活発な質疑が行われ、県内産業や海外進出企業の支援等について積極的な意見交換を行った。

その後、ベルリン市内で都市型農業に取り組む農場「ポタジェファーム」を訪問し、その取組を視察した。



ポツダム大学と県内大学との協定締結式



ポツダム大学・新宮殿キャンパスにて



ベルリン市内のポタジェファームにて

ドイツの首都ベルリンでは、高い環境意識とヘルスケア分野への投資熱を持つ市民の存在が背景となり、古い工場やコンテナを再利用して植物工場を立ち上げる起業家が現れており、訪問したポタジェファームはその一つであった。

外部と遮断され、光や温度、湿度などの環境要素をICTで制御した、垂直農場と呼ばれるタワー型の栽培装置で、バジルなどのハーブ類や葉物野菜、食用花などを生産している様子を視察した。

農場の職員からの説明や意見交換を通じて、環境負荷や輸送コストを低減させる農業の取組、持続可能な農業の実現について知見を深めるとともに、食品の大消費地に近い本県の強みを生かした収益力のある農業施策の推進に向けて、スマート農業やイノベーションを導入した生産性を高める生産方法について理解を深めた。



ポタジェファームの垂直農場

次に、最後の訪問先である在ドイツ日本国大使館を訪問した。志野光子特命全権大使から日独間の政治経済の状況やドイツの経済政策、ブランデンブルグ州の政治経済の状況など多岐にわたる意見交換を行い、今後の埼玉県とブランデンブルグ州との交流の推進について積極的な意見交換を行った。

議 会 日 誌

(本会議・委員会等)

月 日	件 名
7月22日 ～23日	委員会県外視察（危機管理・大規模災害対策）
23日 ～24日	委員会県外視察（公 社 事 業 対 策） ”（少子・高齢福祉社会対策） ”（人材育成・文化・スポーツ振興）
24日 ～25日	委員会県外視察（地方創生・行財政改革）
28日 ～29日	委員会県外視察（自然再生・循環社会対策） ”（経 済 ・ 雇 用 対 策）
8月18日	委員会日帰り視察（環 境 農 林）
20日	委員会日帰り視察（警 察 危 機 管 理 防 災）
25日	委員会日帰り視察（産 業 労 働 企 業）
26日	委員会日帰り視察（八潮市道路陥没事故調査等）
27日	委員会日帰り視察（福 祉 保 健 医 療）
9月2日	委員会日帰り視察（総 務 県 民 生 活） ”（県 土 都 市 整 備） ”（文 教）
9日 ～13日	令和7年度埼玉県議会ブランデンブルグ州 友好親善訪問
17日	各 会 派 代 表 者 会 議 会 議 会 運 営 委 員 会
24日～ 10月15日	9 月 定 例 会

(その他)

月 日	件 名
7月16日	東京都 全国都道府県議会議長会役員会
7月16日	東京都 全国都道府県議会議長会委員会
7月22日	東京都 地すべりがけ崩れ対策都道府県議会議 協議会総会
7月23日	東京都 全国都道府県議会議長会定例総会
8月26日	東京都 男女共同参画委員会
8月26日	東京都 女性議員研究交流大会
8月26日 ～27日	神奈川県 関東甲信越1都9県議会議長会会議